

女川原子力発電所 1号機の設備診断調査およびボーリングによる地質調査について

1. 設備診断調査

(1) 目的

女川原子力発電所 1号機の健全性が維持されていることを再確認するため、1号機の経年化による影響評価（設備診断調査）を自主的に行い、耐震安全性評価と併せて報告するもの。

(2) 調査期間

4月中に終了予定。

(3) 実施概要（右の写真参照）

点検項目		点検方法	写真
設備・機器等の健全性確認	応力腐食割れ（SCC）等	超音波探傷検査 再循環配管や原子炉圧力容器ノズル等の超音波探傷検査結果を確認する。なお、供用期間中検査対象外の代表配管の溶接部について超音波探傷検査を実施する。	
	配管等の減肉	配管等の減肉調査 配管等の減肉調査結果を確認する。なお、減肉管理対象外の代表配管について肉厚測定を実施する。	
	機器の脚付根部の腐食等	脚付根部の厚み測定 容器や熱交換器の脚の付根部について肉厚測定を実施し、必要な厚さがあることを確認する。	
建屋コンクリート、基礎等、支持構造物の健全性確認	コンクリートの強度低下	建屋コンクリートの強度評価 反発度法（コンクリートの表面をハンマーで打診し、おもりの跳ね返る強さによってコンクリートの強度を測定）およびコンクリート試験体（コア）による圧縮強度試験を実施する。	
	基礎ボルト等の緩み、腐食等	基礎ボルト等の目視・打診点検 機器の脚、基礎ボルトの変形・腐食・ナット緩み、基礎台の耐震上有害なひび割れ等の有無について、目視および打診点検を実施する。	
		基礎ボルトの引張試験 機器の基礎ボルトについて、設計荷重までの引張試験を実施し、必要な引抜強度があることを確認する。	-
配管支持構造物の緩み、腐食等	配管支持構造物の目視・打診点検 配管支持構造物の変形・腐食、取付け部のコンクリートの耐震上有害なひび割れ等の有無について、目視および打診点検を実施する。		

上記の検査および試験の透明性、品質確保の観点から、原子力発電所の検査業務に実績のある（財）発電設備技術検査協会等の第三者機関による確認等を受けることとする。

配管の超音波探傷検査状況



配管の肉厚測定



機器脚付根部の肉厚測定状況



コンクリート強度測定状況



基礎ボルト等の目視・打診点検状況



配管支持構造物の目視・打診点検状況



2. ボーリングによる地質調査

(1) 目的

女川原子力発電所 1号機の地盤の安定性に関して、既存の調査結果に基づく評価の妥当性を確認するため女川原子力発電所の構内において行うもの。

(2) 調査期間

4月7日から1カ月程度を予定。

(3) 実施概要

調査箇所：6箇所、総延長：約1,400m（調査状況により、数量を変更する場合があります。）